

069 江戸時代 朝鮮、琉球、北海道(蝦夷地)

<朝鮮>

日本を下に見る朝鮮 (朱子学の華夷秩序)

文禄の役・慶長の役

→ 壬申倭乱・丁酉倭乱

徳川家康、対馬の 宗義智 に

朝鮮との国交回復を命じた。

ただし、明の朝貢国を意味する日本国王を名乗ることはしない

- 朝鮮国王 ① 日本が先に謝罪の国書を出す。
の3要求 ② 日本国王と名乗ること。
③ 壬申・丁酉倭乱の捕虜返還。

この国書は、宗氏が偽造

日本国王の家康から朝鮮国王への国書を
対馬の宗氏が届けた。

回答…先に出した国書の回答

朝鮮国王、回答兼刷還使 を日本に派遣。

→4回目から 朝鮮通信使 と改称。

將軍の代替わり時に就任祝いの使節として。

家康、宛名は 日本国大君 源秀忠 とさせた。

日本国王だと、明皇帝の格下になってしまう。

天皇とか皇の字が入ると朝鮮が受け取れない。

朝鮮、対馬の宗氏と

己酉約条

→対馬に恩恵として日朝貿易を許可した。

釜山 の港に日本人居留地の 草梁倭館 を
与えた。
倭館の面積は長崎の出島25個分

幕府、対馬の宗氏に貿易独占権を与えた。

※幕府と朝鮮は貿易していいので注意。

幕府、江戸城に入る歴代の朝鮮通信使を、

あたかも 朝貢 使のように演出した。

これが200年間も続いたので、幕末の日本人の知識人は、朝鮮は日本
に朝貢していた、と認識していた。朝鮮を格下に見てしまっていた。

<琉球王国>

16世紀…南蛮人のアジア進出

→勘合貿易がしばしば断絶した日明間の
中継 貿易で栄えた琉球王国、ポルトガル
との貿易競争に敗れて弱体化。

島津家久 による琉球侵攻。島津圧勝。

国王 尚寧、明に援軍要請。明無視。

→尚寧は降伏し、捕虜として江戸に連行。

琉球で 檢地 を実施、石高9万石。

幕府、琉球9万石を島津氏に与える。

家康、尚寧 を国王待遇でもてなす。

家康は琉球王国を完全に消滅させることを許さず。

→琉球経由で日明貿易再開を実現するため。王国存続。

琉球の代替わりごとに江戸に 謝恩使

將軍の代替わりごとに江戸に 慶賀使

①琉球9万石は幕府が島津氏に与えた知行地。

②琉球国王はその後も中国の皇帝が任命。

①②→琉球王国は日中両国に 両属 した。

<北海道(蝦夷地)>

室町時代… ジャクシャイン の戦い。

道南で蜂起。蠣崎信広に滅ぼされる。

豊臣時代…蠣崎氏が 松前 氏と改称。

徳川將軍…松前藩にアイヌ交易独占を認めた。

→ 商場知行制

松前氏がアイヌとの交易場(商場)を家臣に
知行地として分け与える制度。

1669 コシャマイン の戦い 日高地方で蜂起。

→ 場所請負制

和人商人 に商場の経営を請け負わせ
利益を納めさせる制度。